

組合員各位

新型コロナウイルス感染拡大防止への学習塾の対応について 第20報

全国学習塾協同組合 理事長 森 貞孝

お知らせ

当組合は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に協力して、当分の間11時からの時差勤務また1人体制になります。御用の方はメールか電話・FAXでご連絡ください。なお、5月の連休は暦通り祝日は休業します。従って次報は5月8日になります。役員はテレワーク・オンライン会議を行っています。

全般的な情勢

世界中の感染者数が300万人を突破し、死者も20万人に達した。アメリカの感染者数は100万人を超えたが徐々にその勢いは緩やかになり始めた。中国・スペイン・イタリア・フランス・ニュージーランドなど感染のピークが過ぎた国々は徐々にロックダウンを解除したり、経済活動の再開に向けた動きを出し始めた。コロナ後へ向けた動きはこれから1週間も経つと加速しそうだ。

日本の現状

日本の感染者数も4月中旬頃をピークに徐々に減少し始めている。最大の感染者数を出し続けている東京都も4月末には新規の感染者数が2桁に落ち込んだ日を4日記録した。しかし、問題はゴールデンウィークだ。諸外国とは違ってこれから日本は1年で一番の行楽シーズンを迎える。ここを抑えきれば収束は5月中にめどがつくが、ここで再度感染数の増加が起これば6月、あるいは7月にずれ込む可能性がある。行政は必死に収束に向けた行動をとっている。緊急事態宣言は5月6日から5月31日まで延長される方向で検討されている。

学校及び学習塾に関係のある政府の方向性

いくつかの県では5月11日から学校の再開を予定している。感染者の多い20近くの県は緊急事態宣言の延長に合わせて5月末までの休校になるものとみられる。一方ここへきて急浮上し始めたのが9月新学期説だ。世界の多くの国の新学期と合わせる話は、長い間何回も話題になったが、多くの賛同を得て動きが変わった。来年からの実施に向けて動き始める模様だ。3月上旬から休校になって3か月、これだけ休校が続くと、夏休みをすべて使っても必要な時数を確保できない。今年の夏休みは生徒たちにとっては全て登校するなど混乱することも。夏休み・冬休みを含めて、大都市圏を中心にかなり変則的な時間割の組み方になる。また文科省はコロナの感染がやや落ち着いてきたところでの授業再開に向けて検討を続けている。

おすすめ

小規模塾でもオンライン指導をしているところが多くなった。その一方で対面でない指導に不慣れで、生徒がバラバラになり指導がうまくいかないという悩みも次々に寄せられている。これから数年で生徒一人ずつにPCが配布される時代だ。オンライン学習は時代の流れで無視するわけにはいかない。このオンライン学習のコツをしっかりとつかむための研修を是非お勧めしたい。前19報に載っているのを見てほしい。

当組合から組合員へのサポート

1. 大人用のマスクについては、現在1塾20枚を限度として配布しています。消費税込み1,200円(1枚60円)
2. マスク不足は当分続きます。アメリカの感染者が急増して世界中のマスクを買いあさっているといわれています。各学習塾では国から支給される布製マスクなども利用して、上手にお使いください。
3. 消毒用エタノールについては、1本500ml 1,050円(消費税込み1,150円)1塾4本まで注文可能です。
4. 政府は国民一人当たり一律10万円の給付を行う方向で、補正予算の組み換えをし、衆参の本会議で成立しました。国の金融支援策については、組合員に前報でご案内しています。今後も新しい支援策が発表になり次第追加していきます。
5. オンラインでの指導について、詳しく知りたい方は組合事務局までご連絡ください。

